

### 第3章 評価の結果に対する対応方針

分科会の評価結果を受けて、国土技術政策総合研究所では以下のように対応する。

#### ■平成24年度第5回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第三部会）

##### ・持続可能な臨海部における廃棄物埋立処分に関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、この研究で得られた成果を活用し、総合的な環境配慮という点からどのような展開を図るべきか検討を進めて参りたい。遮水シートの長期的耐久性の評価については、過去の遮水材の強度検討に関する研究成果等を踏まえ、課題を抽出・整理していくように努めて参りたい。また、中間処理コストの詳細な検討については、今後、海面処分場の設置運営主体等へ導入に向けた具体的な検討を促していく中で検討手法の深化を図って参りたい。更に、研究成果の活用において効果、有用性の理解が深まるよう、既存技術との対比について配慮して参りたい。

その他、ご指摘をいただいた事項についても十分留意して、今後の研究を進めて参りたい。

##### ・エアラインの行動を考慮した空港需要マネジメントに関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、本邦航空市場における格安航空会社（LCC）の経営戦略に関する実証分析等を進めるとともに、当該知見を踏まえつつ、モデルの改良に引き続いて取り組んで参りたい。特に、将来における空港需要マネジメント政策の検討に十分資することができるよう、シミュレーション結果の妥当性を更に向上させて参りたい。

その他、ご指摘をいただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

#### ■平成24年度第6回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第二部会）

##### ・小規模建築物の雨水浸入要因とその防止策に関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、得られた研究成果・知見の公表、小規模建築物の施工の担い手となる工務店等への成果の普及方法の検討に取り組んで参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、現在継続して行っている共同研究「木造住宅の耐久性向上に関わる建物外皮の構造・仕様とその評価に関する研究」（平成23～27年度）を活用して、雨水浸入、結露、通気・換気に関するリスクを含めた総合的な建物外皮の設計・施工法について、今後の研究を進めて参りたい。

##### ・高層建築物の地震後の火災安全対策技術の開発（事後評価）

評価結果を踏まえ、ガイドラインの対象となる区分をもう少しきめ細かに設定し、防火区画

性能の維持という観点から重要である防火戸、防火シャッター等の地震後の有効性を含めた検討に取り組んで参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、民間が開発を行った工法の地震後の火災安全性に関する研究開発を民間が進めるための指針・きっかけとなるような研究体制の組み方、成果の活用方法について検討し、また、共同住宅管理組合などの活用を考えた、さらにわかりやすいガイドラインとなるよう改良を続け、普及のための活動を行って、今後の研究を進めて参りたい。

#### ・省 CO2 効果からみたヒートアイランド対策評価に関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、本研究の成果が有効に活用されるよう、本省都市局と連携しながら、エコまち法の「低炭素まちづくり計画策定マニュアル」に基づく地方自治体の取り組みを支援するとともに、今後予定されている「低炭素都市づくりガイドライン」の改訂等にあたっては、研究成果を適切に反映させ、普及につながるよう努めて参りたい。

特に普及にあたっては、ご指摘のあったコンサルタントの活用も含め有効な手立てが幅広く講じられるよう、本省との調整などに取り組んでいくこととしたい。

その他、土地利用の動態変化に対応した対策技術や新しい技術の普及等の影響、対策評価における様々な副次的効果への配慮など、ご指摘いただいた事項についても、ご指摘の主旨に十分留意して、今後の研究を進めて参りたい。

### ■平成 24 年度第 7 回国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会（第一部会）

#### ・持続可能な社会・経済・生活を支える社会資本の潜在的役割・効果に関する研究（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究実施にあたっては、過去の社会資本整備効果に関する既往研究等のレビューを行うとともに、社会資本と公共事業との違いを踏まえつつ、これまで十分な計測がされてこなかった社会資本整備のストック効果の計測に重点を置き、研究の新規性を確保する。また、研究を進めるにあたっては出来るだけ透明性を確保するよう努めるとともに、外部有識者の意見を踏まえつつ、社会資本整備の必要論に陥らないよう、指標作成プロセスの前提条件等を明確にしながら進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

#### ・道路インフラと自動車技術との連携による次世代 ITS の開発（事前評価）

評価結果を踏まえ、研究実施にあたっては、将来的な研究成果の活用・普及展開を考慮したロードマップ等に対して、研究計画が適切かどうかを確認しながら進めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究を進めて参りたい。

#### ・ソーシャルキャピタルの特性に応じた地域防災力向上方策に関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、ガイドラインの活用によって地域防災力向上への取り組みが PDCA サイクルにより効果的なものとなるよう、相談窓口の設置等、出先機関等との連携を図るとともに、現場における取り組みの実態等を踏まえ、必要に応じ、適宜ガイドラインの修正を行うなど、ガイドライン自体のスパイラルアップを図って参りたい。

また、今後の地域社会の変化や、防災に関するトレンドにも対応できるよう、関係学会等との連携を図り、学識経験者の指導を得ながら、ガイドラインの更新に当たって、適切に反映できるように、努めて参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても、ご指摘の主旨に十分留意しながら、今後の取り組みを進めて参りたい。

#### ・都市におけるエネルギー需要・供給者間の連携と温室効果ガス排出量取引に関する研究

（事後評価）

評価結果を踏まえ、今後、低炭素まちづくりの都市計画に際して、診断ツール等の活用性を向上させるよう取り組んで参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、研究成果の公表により連携事業の促進を図るとともに、効果の把握等を通じて今後の課題及び対応方策の検討に取り組んで参りたい。

#### ・汽水域環境の保全・再生に関する研究（事後評価）

評価結果を踏まえ、得られた成果を現場に適用しながら、汎用性の検証を行い、より研究成果が社会に役立てられるよう取り組んで参りたい。

その他、ご指摘いただいた事項についても十分留意して、汽水域データベースの活用や河川関係者以外への成果の周知などにも取り組んで参りたい。

#### ・土砂移動を考慮した治水安全度評価手法に関する研究（事後評価）

指摘事項を踏まえ、本研究の成果を PDCA サイクルに基づく全国の河道管理の実務に反映すべく、今後とも本省等と連携し取り組んで参りたい。また、B 型管理：面的地形測量成果を用いた河床管理については、評価時に挙げた本研究期間内で積み残した課題について、今後も継続して研究を進めて参りたい。